

科目名	国際社会と人権Ⅱ		
英語科目	ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照	
開講期	秋学期	開講学部等	国際関係学部
教員名	須藤 瑞代	配当年次	2年次
		単位数	2単位

### 授業概要／Course outline

「国際社会と人権Ⅰ」で学んだ内容を基礎とし、「国際社会と人権Ⅱ」では、現在の国際社会における人権の普遍化の促進と、それにもなつて生じた課題について考える。人権をめぐる国家間の対立、普遍的な人権理念に基づく政策を行うことにもなつて生じた課題などについて、具体的なケースをとりあげて学ぶ。

### 授業形態、授業方法等／Course form・type

#### 【授業形態】

対面授業

#### 【授業方法】

講義

・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

90分程度のオンデマンド動画のURLをmoodleに掲示する。内容に関する質問はメール等で受け付ける。

### 授業内容・授業計画／Course description・plan

#### 第1回 インTRODクシヨン

授業の進め方について全般的な説明を行う。春学期の「国際社会と人権Ⅰ」で学んだ内容の要点を復習し、国際人権についての基本的理解を深める。

#### 第2回 国際人権と国連の役割

人権の促進と擁護に関する国連の役割は大きく、その範囲は現在も拡大を続けている。権利の定義、また促進・擁護、政府による人権保護を支援する機構、人権教育など、国連が担う重要な役割について考える。

#### 第3回 国際人権とNGOの役割

国際的な人権の普遍化にはNGOも大きな役割を果たしてきた。アムネスティ・インターナショナルやFreedom Houseなどの活動を通じて、人権NGOの果たす役割を考える。

#### 第4回 国際人権とメディア 「教員-学生間の対話」の実施

人権侵害が起きた場合、それを可視化し問題化するメディアの影響力は大きい。国際人権におけるメディアの役割と責任について考察する。

#### 第5回 人権をめぐる対立：米中関係（1）

米中関係において、人権をめぐる対立は大きな影響を及ぼしている。まず、アメリカによる中国の人権状況に対する批判について検討する。

#### 第6回 人権をめぐる対立：米中関係（2）

前回とは逆に、中国側からアメリカの人権状況に対してなされている批判をとりあげ、両国の人権に対する考え方の相違を考える。

#### 第7回 ビジネスと人権

人権保護は企業にも求められる。企業の社会的責任（CSR）の考え方を学び、現在企業がどのような課題に直面しているのかを考察する。

#### 第8回 先住民の権利をめぐる

カナダとオーストラリアなどを事例とし、先住民迫害の歴史を学ぶ。その上で、過去に起きた人権侵害が現在の社会にどのような影響を及ぼしているのかを考える。

#### 第9回 文化と人権

ある社会や文化において伝統的に継承されてきたものが、人権の観点から問題となるケースがある。イスラム教徒の女性が着用する「ブルカ」やアフリカなどで行われているFGM（女性器切除）など、さまざまなケースから文化と人権について考える。

#### 第10回 ジェンダーをめぐる対立

ジェンダー平等を進めることが、国内における対立を招く場合がある。韓国などのケースを中心に、人権保護の促進によって生じる社会的な課題を考察する。

#### 第11回 中絶をめぐる対立

アメリカにおいては、中絶をめぐる州ごとにも法律が異なるなど、賛否両論がある。生命倫理と人権の問題が政治化したのはなぜかを考える。

#### 第12回 同性婚合法化（台湾）

台湾では2019年にアジアで初めて同性婚を合法化した。これは国際社会において「国家」として認められていない台湾にとっては、マイノリティの保護以上の意味があることを学ぶ。

#### 第13回 戦争・災害時の人権

戦争や災害が生じると、複数の人権問題が連続して生じる。緊急事態における人権保護の重要性と国際社会の役割

について考える。

第14回 期末テストと授業のまとめ 「学習成果実感調査」の実施

第1～13回までの内容について重要なポイントを総括し、学習の習熟度を確認するテストを行う。

★オンデマンド テーマ：期末テストの解説・補足

期末テストの解説および補足をオンデマンド授業で行う。テスト実施後に90分程度のオンデマンド動画としてmodelにURLをアップロードする。

## 事前・事後学修/Preparation and assignments

### 第1回 インTRODクシヨN

【事前学習】新聞記事等で、最近の人権にかかわるニュースについて調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

### 第2回 国際人権と国連の役割

【事前学習】国連人権理事会の活動について調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

### 第3回 国際人権とNGOの役割

【事前学習】アムネスティ・インターナショナルやFreedom Houseのサイトを閲覧しておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

### 第4回 国際人権とメディア

【事前学習】メディアにおける人権問題の報道について、複数の新聞などで調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

### 第5回 人権をめぐる対立：米中関係（1）

【事前学習】アメリカによる中国の人権状況についての記事を、複数の新聞などで調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

### 第6回 人権をめぐる対立：米中関係（2）

【事前学習】中国によるアメリカの人権状況についての記事を、複数の新聞などで調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

### 第7回 ビジネスと人権

【事前学習】企業の社会的責任（CSR）についての記事を、複数の新聞などで調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

### 第8回 先住民の権利をめぐる

【事前学習】カナダとオーストラリアの先住民についての記事を、複数の新聞などで調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

### 第9回 文化と人権

【事前学習】FGMについての記事を、複数の新聞などで調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

### 第10回 ジェンダーをめぐる対立

【事前学習】韓国のジェンダー問題や徴兵制についての記事を、複数の新聞などで調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

### 第11回 中絶をめぐる対立

【事前学習】アメリカの中絶をめぐる対立についての記事を、複数の新聞などで調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

### 第12回 同性婚合法化

【事前学習】台湾の同性婚合法化について調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

### 第13回 戦争・災害時の人権

【事前学習】戦争や災害に関連する記事を、複数の新聞などで調べておくこと。

【事後学習】配布した授業資料の内容を理解し、次回までに復習しておくこと。

### 第14回 期末テストと授業のまとめ

【事前学習】第1～13回までの授業内容を復習しておくこと。

【事後学習】テストをふりかえり、不明点を確認しておくこと。

★オンデマンド テーマ：期末テストの解説・補足

【事前学習】動画内容に関連する配布資料をよく読んでおくこと。

【事後学習】動画内で出された復習課題に取り組むこと。

※各授業に対する事前・事後学修は約180分を目安とし、合計で2,700分程度とする。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学修を行うこと。

## 授業の到達目標/Expected outcome

人権をめぐる国家間あるいは国内社会の対立について、具体例をあげて説明することができる。  
人権をめぐる問題の現状と課題について複数の事例から理解し、説明することができる。

**身につく資質・能力／Competencies to be attained**

- ・ 主体性
  - ・ 倫理性
- 専門知識・専門技能  
【国際関係学部 国際関係学科】
- ・ 国際関係の政治領域に関する知識
  - ・ 学際的な分析力

**履修上の注意／Special notes, cautions**

「国際社会と人権Ⅰ」を受講してから本講義を受講することが望ましい。

**評価方法／Evaluation**

平常点（毎回課題の提出など）60% テスト（期末）40%  
\* 授業内で課した小レポートや課題は、授業時に随時フィードバックする。

**教 材／Text and materials**

特に指定はしないが、講義ごとに関連する文献を紹介するので、適時参考にすること。

**質問や相談の方法／Instructor contact**

質問は授業の前後およびオフィスアワーの時間を利用して対応します。  
メールまたはteamsでの相談はいつでも受け付けます。  
研究室：第6研究室棟416  
連絡先：moodleに記載するメールアドレス